

# REFEREE NEWS



公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

January 2016

年4回発行(1, 4, 7, 10月)

## 平成27年度第94回全国高校サッカー選手権大会千葉県大会決勝

2015年11月15日(日) 13:05 キックオフ ~ 県立柏の葉公園総合競技場 ~

流通経済大学付属柏高等学校 0-3 (前半 0-1, 後半 0-2) 市立船橋高等学校

主審:清水勇人氏、副審:大川直也氏、木原裕之氏、第4の審判員:高崎昂史氏 (文中敬称略)

決勝戦は、昨年同様の対戦カードとなりました。前日からの雨空も試合開始と同時に上がり、青空の下でのキックオフ。両チームの応援合戦も白熱する中、今年は市立船橋高校が昨年の雪辱を晴らし、全国への切符を手に入れました。



(左から 大川氏、清水氏、高崎氏、木原氏)

### Q. 試合を終えられての感想をお願いいたします。

清水:この高校選手権の決勝は独特の雰囲気があり、試合前の緊張感というものも感じました。その中でも自分のやるべき事をやろうと思い、やり切ることが出来たと思います。

大川:緊張感の非常にある試合で、精一杯自分の役割を果たし、やり切ることが出来ました。こういう試合に割り当てをいただけたことは光栄です。

木原:僕も、緊張感を感じる試合の中でしっかりやり切ることが出来たと思います。

高崎:緊張しましたが、サポート出来るように頑張りました。楽しかったです。

### 目次

決勝審判員インタビュー	P.1~3	休止・降級の申請方法について	P.14
昇級試験合格者のお知らせ	P.4~5	新シーズン前研修会のご案内	P.15
シニア審判員研修会実施のご報告	P.5~8	2016年度 永年功労表彰のご案内	P.15
JFAハウス見学ツアーのご報告	P.9~12	新 kickoff システムに関する注意事項	P.15
更新講習会のお知らせ	P.13	JFA ラーニングについて	P.15
新規取得講習会のお知らせ	P.14	郡市協会だより	P.16

**Q. 試合中はいかがでしたか？**

**清水:** 試合中はもちろん、選手がプレーに集中できる環境を作ることを第一に、ゲームの温度を感じ取りながら、4人でしっかりコミュニケーションを取って行うことが出来ました。

**大川:** いつもの試合と変わらず平常心を保ちながら試合に臨みました。

**木原:** 緊張感のある試合の中で、ミスの無いよう心掛けて挑んでおりました。レフェリーチームとしては、清水さんがリードしてくれたので安心出来ました。

**高崎:** とても緊張しましたが、試合を間近で見ることができ、貴重な体験をさせていただきました。



**Q. 審判をしようと思ったきっかけは？**

**清水:** 小学生の時に所属していた4種のチームの手伝いをする事となり、高校卒業の時位に4級を取得しました。

**大川:** 高校生の時に部活動の中で審判担当という役割をいただいて始めたのがきっかけでした。

**木原:** 自分の所属しているチームの帯同審判がきっかけですが、上級審判を目指したのは、サッカーに関わっていくには何をすればいいのかなあ、って思ったことがきっかけでチャレンジするようになりました。

**高崎:** 指導者になるにあたり、資格を取得しました。

**Q. 今話題のルーティンですが、皆さんは何かお持ちですか？**

**また、今回の割り当てにあたり、事前に準備をしてきた事などはございますか？**

**清水:** 自分の中で決めて行っていることはあります。また、今回の割り当てにあたり、この試合の前には準決勝2試合の映像は事前に確認しましたが、それ以外は普段と変わらず同じように準備を行いました。

**大川:** ルーティンがあります。ルーティンを行うことで、判定に集中出来るように気持ちをコントロールしています。

**木原:** ルーティンとして気に行っていることは無いです。今回の割り当てのための準備は特にしていません。いつも通りのトレーニングをしてきました。

**高崎:** 特にありません。

**Q. 普段、どのようなトレーニングをされているのですか？**

**清水:** インターバル走、長短距離走、アジリティー、体幹トレーニング、などをしています。

**大川:** 筋力トレーニングを行った後に、40分程度ランニングをしています。最後に、家の前にある坂道を走り込んでいます。

**木原:** 私は、1人ではなかなかやる気スイッチが入らない方なのですが、それでも毎朝ストレッチをして、仕事で早く帰ることが出来ればジョギングをしています。また、毎月、RAちばのトレセンやフットサルに参加し、仲間と楽しくトレーニングをしています。

**高崎:** 部活の際に、生徒と共に体を動かしています。





Q. 上級を目指すレフェリーに一言、お願いいたします。

**清水:**自分の試合を終えたらしっかりと自己分析をする。そしてそれを改めて振り返えるということが、とても大切なのではないかと思います。

**大川:**謙虚に周りの人の意見を聞くことだと思います。また、論理的に考え、分析することも大切です。現代サッカーはスピードが上がっているのです、そのサッカーの進化に対応出来るように、審判をすることや観戦することも大事ですが、それだけではなく、自分でプレーを試してみることも大事だと思います。

**木原:**日々努力です。僕くらいの年齢になると2級が上限ではありますが、それでも更に上を目指すことは出来ます。努力をすれば、このような決勝戦という大きな舞台にアポイントを受けるところまではいけると思います。目標を持って、頑張って活動をして欲しいと思います。

**高崎:**僕も上を目指していきます。共に頑張りましょう！



最後に、

「観客席に上がって審判表彰を行って下さり、とても嬉しかった！」とのご感想をいただきました。

ご配慮いただきました関係者の皆様には、感謝申し上げます。

ひたむきにレフェリー活動に取り組んでおられる各々の一言・・・

自己分析をする事。謙虚である事。日々努力する事。更なる上を目指し、目標を持つ事。等々・・・

レフェリーチームが一丸となって試合に挑まれ、言葉通りの行動により成されたと確信出来る、素晴らしいレフェリングでした！

引き続きのご活躍を祈念いたします。頑張ってください！！



## 昇級試験合格者のお知らせ

### 【サッカー】

2級合格者(1名、敬称略)

内藤 将一

3級合格者(32名 順不同、敬称略)

安藤 学、稲田 俊実、井上 明彦、伊波 佑真、  
上田 優心、大塚 重行、金丸 博孝、後藤 秀剛、  
小山 翔太、小山 幸浩、白石 啓一郎、菅原 祐正、  
鈴木 沙耶、鈴木 壘、須藤 隆久、関 俊昭、  
高橋 拓己、堤 秀之、友邊 一暁、中垣 真実、  
並木 佑磨、行木 宏彰、野口 章弘、畠山 翼、  
林 麗華、藤原 陸、保坂 美里、前田 浩一、  
三田 雅仁、宮原 芽久、武者 史也、渡辺 樹

### 【フットサル】

3級合格者(2名、敬称略)

平島 勉、松本 直樹

Congratulations  
おめでとう



合格後、新3級審判員実技研修会に参加した審判員から寄せられた報告をご紹介します。

審判打ち合わせの時に不安や心配な点を全員で共有し話し合う事で解決することができ、審判はチームプレーなんだと改めて思いました。AR1を担当させてもらい、アイコンタクトの大切さやフィールド全体を注視する大切さを終了後の反省会で指摘してもらった項目を今後の審判活動に生かしたいと思います。最後に今回一緒に審判をした皆様ありがとうございました。

(鎌ヶ谷市:稲田 俊実)

3級として、3級ワッペンを着けての初めての試合、そしてそれが1種の試合、とにかく不安と緊張でした。試合進行へのきちんとした手続きの方法も知らず、焦りが不安をさらに増長、あたふたしている中でインストラクターの稲葉さんからタイミングよくアドバイスをいただいたことで、なんとか定時に試合を開始できました。試合が始まってからはとにかく必死。緊張もやがて集中力となり、気がつけばあっという間に試合終了。60分ってこんなに短かったっけ?と思うくらいでした。試合後の反省会でも自分の失敗について稲葉さんからたくさんの前向きなアドバイスをいただいたおかげで、「もっともっと勉強してみたい、この失敗を活かしてみたい!」という気持ちになりました。

今日のこの試合・この気持ち・この緊張・この失敗を絶対に忘れずに、これからも一試合一試合フレッシュで前向きな気持ちで臨んでいこうと思います。お世話になりましたインストラクターの稲葉さん、右田さんには感謝の気持ちをお伝えするとともに、審判団としてサポートをいただいた稲田さん・林さん・花澤さんには感謝と「また一緒にやりましょう!」という言葉をお送りさせていただきます。審判は奥が深い、だから面白い…これからも「青の重圧」に負けず、一生懸命頑張ります。

(我孫子市:小山 幸浩)



雨の中での研修会、お疲れ様でした。転勤で関東勤務になって以後、一時サッカーから離れていましたが、3年前より再びサッカーと関わるきっかけがあり、どうせならと、一度失効していた審判資格を2年前に再度取得しました。以前に活動していた頃とは違っている事も多く、この1年はあたふたしながら笛を吹いたり旗を振っていたというのが実際のところですが、今回の研修では打ち合わせの時から色々気付く事があり、また、主審として試合を進めていく中で、改めて今後の自分の課題が見つかったと思います。『主審と副審の協力』と言うテーマの下での研修会でしたが、今後も、『審判も4人で一つのチームである』と言うことを忘れず、今後もたくさん経験を積んでいけたらと思います。最後に、当日一緒させて頂いたインストラクター始め審判チームの皆様、運営に携わっていただいた皆様、ありがとうございました。

(佐倉市:保坂 美里)

まず初めに、3級昇級にあたり、多くの方々にお世話になりました。ありがとうございました。普段の審判活動では、なかなか男性と一緒に試合を担当させて頂くことは少ないのですが、今回の試合前の審判打ち合わせでは、特に選手経験も豊富な男性方からの意見を聞きながら、もしもの時の対応について深く話し合う事が出来、貴重な体験になりました。今回の研修会のテーマは『主審と副審との協力』ということで、試合の中では副審と4thの助けを頂きながら、アイコンタクトでのコミュニケーションを前提として、公平なジャッジを目指しました。審判チームとしての課題、自分の中の課題も多く見つかりましたが、それを一つずつ次の試合で修正し、繰り返さないことが大事だと思っています。3級取得でやっとスタートラインに立てました。ここからさらに経験を積んで、自分の中の引き出しを増やし、より早く、より良いジャッジが出来るよう日々勉強していく所存です。改めて、このような機会を頂き、ありがとうございました。

(習志野市:鈴木沙耶)

## シニア審判員研修会実施のご報告

今年も35歳以上の精鋭(?)たちが集まりました！！



昨年に引き続き2回目の参加となりました。4種を中心に審判活動を行っていますが、普段では得られないご指導を今年もインストラクター及び3級審判の方々からいただき、大変有意義な2日間を過ごさせていただきました。実技では、まだまだ未熟である事を痛感しましたが、今回いただいたご指導を今後の活動に役立てるのは勿論、実技を向上させ、競技規則の理解を深めて3級審判にチャレンジしたいと思います。

最後に関係者の皆様、ありがとうございました。

(千葉市:篠原 優勝)



育成部及びインストラクターの皆様、研修会の開催、運営をいつもありがとうございます。習志野市から参加しました遠藤裕司です。昨年に引き続き2回目の参加となります。今回の研修は、「考える」がテーマで、主審、副審を担当する際に必要なことを自分自身で具体的に考えて試合に臨み、課題や反省点を自己分析しました。それに対しての原因、対策等をインストラクターとクルーと一緒に考え、又意見を出し合い、皆で共有することができました。改めて審判チームとして、アイコンタクト、コミュニケーションを取る、協力、助け合い等々、自分自身が薄れていたことを再認識しました。この研修会に参加したおかげで今回も昨年同様、インストラクターの方々や県内各地域から参加された方々との交流の中でアドバイスを頂き、又、情報交換をして、良い刺激と自信、元気をもらいました。ありがとうございました。今後の審判活動で、この研修会で学んだことを活かして、更にレベルアップするようにこれからも頑張っていきたいと思えます。最後になりましたが、研修会の会場提供にご協力頂いている関係者の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

(習志野市:遠藤 裕司)



研修会に参加して分かったこと、それは初回講習を受けて与えられた審判証は、真っ白なノートを渡されたのと同じ事だということでした。もともとサッカーに興味がある訳でもなくただ、息子が参加しているサッカーチームでお手伝いができることを考え、思いつきで取得した審判証でした。審判証を取得したものの活かせる術がない私でしたがそんな時、レフェリーニュースに掲載されていたシニア研修会に興味をもちました。私は、持っているだけの審判証にならないようしたいと思い、思い切って申込みをしました。初日に行われた8人制の1人審判では、審判証を受けとってから1ヶ月半、事前に練習をする機会がなく当日を迎えてしまった私に務まるはずもなく、自分の不甲斐無さに涙をこらえる場面もありました。しっかりと競技規則を覚えておけば良かったと後悔ばかりの1日を過ごしてしまいました。そんな私に対して先輩レフェリーの皆様には、とても励まされ挑戦することへの意味を教えてくださいました。また、インストラクターの皆様には、審判としての知識や技術を向上させる為のアドバイスを沢山いただくことが出来ました。真っ白なノートを持って参加した私は、この研修会でたくさんの事をノートに書き込むことが出来たと思えます。研修の最終日には、失敗を恐れず経験や知識を書きこんだノートを持って来年もこの研修に参加したいと思うようになりました。

(市原市:花澤 美和)

2日間のシニア更新講習会の締め括りは、協力してくれた中学生との試合でした。しかし、そこで見た光景は、講習をしていた時とは全く別人の集まりでした。40歳を超えた体では、中学生相手に体力勝負でかなうはずはありませんから、ルールをフル活用した高度なプレーで対抗するしかありません。「副審！オフサイドライン見ていた？」「今のは手が出ていたんじゃない？！」という中学生審判に対する心理作戦や、審判の死角を突いた走り出し、などなど。“上手な審判員は、サッカーも上手(?)”という思い込みは吹き飛びました。今回、シニア更新講習会に参加した理由は、より上を目指そうといった志があったからではなく、サッカーをしている子供達に迷惑をかけない程度に笛を吹けるようになりたいというものでした。審判は批判されることが多く、しかも初めの頃の方が、辛い思いをすることが多いので、そんな私のような初心者から3級・2級を目指す上級者まで、男性も女性も、個性的な人達ばかりが集まりました。小学生の8人制1人審判や、中学生の練習試合を借りた11人制審判をはじめ、夜は座学とビデオ研修。ビールを飲まずに食事をしたのは数年ぶりでしたから、懇親会のビールは最高でした。それぞれの担当者にあった厳しくも暖かいアドバイス、審判員として試合に向かう心構えや、サッカーに対する興味や意識付け、本当にありがとうございました。子供達と一緒に県大会を目指す、勇気も貰いました。

(佐倉市:高沖 創一)

先日の講習会では大変お世話になりました。当日、講習会に参加した感想と、その後につきましてご報告させていただきます。前回のレフェリーニュースで、1泊2日の講習会開催のお知らせを見つけ、4級を取得したばかりで右も左も解らない自分にとっては、またとないチャンスかもしれないと思い、右田さんの後押しも頂き参加をさせて頂きました。しかし、講習会当日の朝、会場に集合された参加者の方々の、審判としてしっかり経験されているだろう様子、そして講習スケジュールを確認するにつれて、「自分のような初心者が参加するべきではなかったのでは…」と思い始めてしまいました。そんな中、参加された審判の諸先輩と話をするにつれ、心温まる助言と応援を頂き、実際の試合で笛を吹き、反省会でのインストの方々からの助言を頂くうちに、気がつけば当初の思いはどこかに吹き飛び、今あること全てを吸収しようと、夢中になっている自分が居りました。夜は座学とテストに懇親会、翌日は会場を替えての審判実技講習、最後は中学生チームと審判チームとの親善試合という流れのなかで、「サッカーはなんて楽しいだ！」という境地に至りました。講習会後ですが、現在では我が子の練習試合で笛を吹く機会があり、講習会で学んだ事、諸先輩方から頂いたいろいろなアドバイスや審判としての考え方などを振り返りながら、日々頑張っております。私にとっては、本当に貴重な体験となりました。誠にありがとうございました。改めて皆様へ御礼申し上げます。

(千葉県:滝 正彦)



千葉県サッカー協会主催シニア審判員実技研修に初めて参加させて頂きました。参加の動機として、私は1.3.4種で審判活動を行っていますが最近、各種大会時に自身やチームを組ませていただく同僚審判員のレフェリングでちょっとした疑問が生じることがありました。その度にルールブックを見ながらその時のジャッジを振り返るのですがあのジャッジはあれで本当に良かったのか？と反省したり、どうなんだ？とスッキリせずに悶々とする機会も増えました。それらを解決するには試合を舞台とした審判実技研修で自分自身が思ったようにジャッジした結果をインストラクターの方々に指導してもらうことが最善と考え、今回の実技研修に参加しました。

研修は10/31(土)、11/1(日)の2日間で1日目はU-11 8人制大会30分ゲームでの1人審判×主審2試合、4th×1試合、2日目は千葉県立朝日が丘中でU-15TMの審判実技でした。U-11大会では1人審判のため、主審の基本動作である対角式審判法ではファウル、オフサイド、ラインアウトの監視、見極め、的確な判定がアシスタントなしで難しい。1人審判ではそれらのプレーの適切な監視位置への移動、それを実行する運動量を求められることから走って走って「全体を広く見ながらも争点、ボールの近くで」を意識したポジション取りを実行しました。試合後の評価ではインストラクターから「ポジショニング、走りも良く、近くで争点見れていて良かったですよ。」のお褒めの言葉？を貰いつつも「でも時々、あれ？そこで止まっちゃうの？と思えるくらい今までの良い動きを止めてしまう時がありますね。体力的にまだまだ走れたでしょ？また、もっと首を振って周囲を見て展開を読んで監視ポイントにもっと早く入りましょう！まだまだ走れる感じだし入り込めたら更に良いですよ」と言った更なる上積みを求める？叱咤激励を頂きました。初日は走りまくり、3名のインストラクターの方々の熱血指導？でそれなりにハードでした。2日目はU-15TMでA2と4thを担当しました。U-15の選手個々のレベル、特徴などを県派遣審判でのU-15大会での審判経験から理解した上で正確なジャッジが必要だと意識を持って試合に入りました。試合後の評価でオフサイドのジャッジにて自分では際どいがオフサイドと判定した事例でインストラクターから「あれはオフサイドではないですね」と指導がありました。個人的には際どいが的確にジャッジしたと思っていましたがインストラクターからは「フラッシュラグ」という現象でそのように見えた(見える)と説明を受けたことは大変勉強になりました。

実技講習終了後は毎回恒例？朝日が丘中 VS インストラクター、審判団合同チームによる50分のガチンコ？フレンドリー？ゲームでした。インストラクター、審判団チームは審判員としての知力体力威厳は充実？もサッカー選手としては見た目以上にそれらに難有り、意気込みとは反対に開始早々で実力差が顕著に現れて苦境の審判団チーム。私も後半から出場、経験者ということでGKIにて出場しましたが・・・マークの甘さで1対1の状況が殆どとは言えず予想以上の失点で個人的にはかなり凹みました。あまりの大量失点で悔しかったのでやる気SWが入ってしまい、途中からフィールドプレーヤーにチェンジして大人気なく？反撃してしまいました。朝日が丘中の選手にはフィジカルで圧倒してしまった場面も有り、ホントに大人気なくてすいませんでした(笑)。結果は審判・インストラクターチームの完敗でしたが選手と審判員が試合で交流というのは楽しかったです。



今回の研修ではインストラクターの皆様からの的確な指導を頂けた事、3級審判(2級目指す人、昇級間もない人)、4級審判(3級目指す人、新規取得したばかりの人)、男性、女性の垣根なく同じ志を持つ審判員同士、交流出来たことは貴重な経験でした。また来年も参加出来たら良いなと思います。(是非宿泊で?)

(市原市:高木 功)

今回の研修のテーマ「考える」。普段は審判やルールについてじっくりと考えることがなかった自分も、この2日間どっぷりと審判漬けになり、それについてみんなとたくさん考え、話し合い、経験し、共有し、そして学ぶことが出来ました。良い審判になるには?信頼される審判になるには?インストラクターの方々にたくさんのヒントをいただきましたが、でも自分にはまだ答えが見えておらず。もっともっとピッチの中を必死で駆け回り、考え、そしてさまざまな経験をしていくことでこの答えは少しずつ見えてくるのかな。だからこれからも全力で走り続けなければならないんだ、そう考えるきっかけをいただいた研修でした。とても緊張した。キツかった。疲れすぎて足がガクガクで歩くのがつらい。でも参加して本当に良かった。チャンスがあれば次もぜひ参加します。

(我孫子市:小山 幸浩)



今年で3年目の参加となりますが、毎年アドバイスを頂きレベルアップをさせてもらっています。今回もたくさんのインストラクターに実技を見てもらい自分のレベルにあわせて、修正すべき動きや立ち振る舞いなどいろいろな助言を頂きました。また、他の受講者へのアドバイスも聞いていて自分に当てはまることもあり2日間、大変勉強になりました。それと、恒例の旅館での勉強会や懇親会と多くの方々とサッカーについて語り合えたことも非常に楽しかったです。最後に、育成部及びスタッフの皆様有意義な2日間の研修、ありがとうございました。

(千葉市:中山 雅之)

10月31日、11月1日とシニア研修を受講させていただきましてスタッフの皆様有難うございました。研修の数日前に腰を痛めてスタッフ及び受講者の皆様にご迷惑をおかけしました。次回は、体調を整えて是非参加いたします。

(浦安市:長田 晃)

7月に兵庫県から移籍して以後、初めての審判活動に、シニア更新研修会を選びました。近い年代の方々と審判活動や寝食を共にする機会はとても貴重なコミュニケーションの場となり、新たな刺激を受け、素晴らしい千葉県での審判活動のスタートとなりました。初日の8人制1人審判は、2人のユース審判員と計3試合ペアを組ませていただきました。関西から来たオッサンに物怖じせず、積極的にコミュニケーションを取ってくる姿勢に千葉のユース審判員の素晴らしさを感じました。2日目の中学生の試合では、主審を担当させていただきました。初対面で経験や技量がわからない方と審判チームを組むにあたり、事前に打合せのシミュレーションはしていましたが、相手に伝える、理解していただく事の難しさを再認識しました。2日間の研修で、新たな気付き、モチベーション、仲間との出会いなど、沢山の物をいただきました。今後の審判活動でお返し出来るように頑張ります。最後になりますが、右田様を初め、インストラクター様など県協会の皆様、審判活動の場を提供いただいた大会関係者、チーム、スタッフ、宿泊所、研修を支えて頂いた全ての方々に感謝申し上げます。このような素晴らしい研修会を開催いただいて、ありがとうございました。

(千葉市:天野 喜章)



## JFAハウス見学ツアーのご報告

育成部では2015年度より、ユース審判員を対象にした勉強会を毎月実施しています。その一環として、「日本サッカーの殿堂や歴史を学び、多角的にサッカーを知ることが目的とする。」と称し、9月27日(日)に【JFAハウス見学ツアー】を開催しました。その時の様子をご紹介します。



(JFAハウス到着、即記念撮影！)

今回参加して、日本という国がどのような経緯をもって今に至ったのかを知ることが出来、とても面白かったです。たとえば、オリンピックでどの大会に参加して、どのようにして強くなったのかが良く分かることが出来ました。講話では、日本のトップレフェリーは本当にわずかであり、さらにFIFAとなるとさらに少なくなることを知り、厳しいなどあらためて感じました。一番驚いたのは、日本がフェアプレー賞を多くとっている事です。確かに荒れた試合はあまり見ていませんが、国際大会で実際に獲得しているトロフィーを見ると、やはりすごいことだと思いました。そして日本が目指すフェアなサッカーを今後も続けていただきたいです。最後に、こんな貴重な体験をさせていただいていることで、それに関わっている人に感謝をしないとイケないとも思いました。自分でも還元できることを探して、しっかりとやっていかなければいけないと思いました。

(高2)町田 皓

今回日本サッカーの歩みというものを学んできた中で、日本サッカー界全体の進化をたどっていき、先人たちの確かな功績を学び、現在の自分たちがいる環境に強い感謝の念を抱きました。このような素晴らしい機会をいただいたJFA・千葉県サッカー協会の方々に感謝いたします。JFA職員の方の講話をいただいたときに、日本サッカー審判界での自分の現在の立ち位置と、世界の中での自分の立ち位置というものを痛感しました。自分が世界に飛び出していくためには、目標の位置から逆算して、ひとつひとつ壁を突き抜けていくことが大切だと思いました。自分は果たして、あの狭き門を通ることが出来るのだろうか？話を聞いている1時間の中で、何度も自問自答しました。大切な能力とは、必ずしもレフェリーの能力だけではない、というよりレフェリーの能力があるのは当然のことで、プラス自分は何の力を持っているのかということを実証しなければならないと思いました。サッカー界の中で審判の占める重要性は相当なもので、自分は審判員としていろんなものにアンテナを張り、いろんなものを取り入れて、もっともっと成長し、審判員として上を目指すのであれば、決して歩みを止めてはならないと思いました。自分は審判をやる中で、日本サッカー界の発展を願い、サッカーファミリーとしての責務、リスペクト、エンジョイなどの価値観を深く理解し、毎試合に全力で臨むことを強く誓います。正直、世界への道の果てしなさに呆然としましたが、自分がどこまでできるのか、「やれるだけやってみようじゃないか!」、そのような気持ちになれた今回の研修でした。

(高3)永島淳平

今回この見学ツアーに参加して、これまで先人の築いてきたサッカーの歴史と、これから将来への展望を学びました。自分は小学生の時からサッカーを始めましたが、実際のところただサッカーをやるだけであり、歴史などには興味も無く、基本的に観客と殆ど変わらない立場でした。中学入学当初に審判を始め、それから少しずつサッカーについて学び始めました。しかし、やはり今回学んだ事には非常に多くの発見が有りました。まず、審判の人口比には驚きました。僕は基本的に少年チームでやっているのですが、印象的には3級と4級とで1:4くらいの比率だと思っていました。しかし、この他4級が多く、やはり自分たちは責任を持っていかなければならないと思いました。それよりも驚いたことには、2級審判員への、また1級審判員への門は更に狭いものだと思います。自分はまだ、今後どうありたいのか明確には決まっていないので、どうなるのか判りませんが、チャンスのある限りは挑戦していきたいと思います。SNSについての話は審判員として以前に、一般人として必要なある種のスキルを感じました。ネット上でも審判をやる上でも、周りのことをよく考えて行動するべきだと感じました。やはり審判員は選手の気持ちを考えてやるべきものであり、それを日常的にやることで身に付くものだと思うので、そういったことも考えて生活したいと思います。

(高2)大友聖樹



(ツアーガイドの方による解説)

JFAハウスに初めて来てまず感じたことは、大きいビルだなということです。自分たちが審判やプレーをできるのは、たくさんの支えがあるからで、このビルの大きさは、その人々の象徴であるのではないかと思います。そして今回の勉強会で一番感じたことは、一つ一つの行動に責任を持つと思ったことです。JFA職員の方の講話の最後に、SNSとの付き合い方についてのお話をいただき、審判員としての自覚を持った行動をしなければならないと聞き、SNSだけでなく、ピッチ上でも同じで、責任と威厳を持ってやろうと感じさせてくれました。いろいろな人に支えられていることに感謝して、責任を持って審判をやろうと感じさせてくれる研修で、とても有意義なものになり、参加できたことを嬉しく思います。今日感じたことを糧に、これからも頑張ります。

(高2)渡辺 樹



(タツキ！円陣だ～！！)



普段あまり来ることができなかったので、今回参加出来て良かったと思いました。日本のサッカーの歴史を知るとは、とても興味深かったです。半分以上の歴史が、自分が生まれる前の時代のことで、話を聞いてもピンとこないこともありましたが、自分が今まで習ってきた日本史や世界史と照らし合わせてみると、より楽しめそうだったと思うので、それも含めてJFAハウスにはまた来てみたいです。講話で聞いた「JFA」「人口」「SNS」の話も、普段聞けるものではないので、貴重な体験ができたと思いました。男性に比べて女性、大人に比べてユースはとても割合が少なかったため、ユース研修会に来ている仲間たちはすごい確率で出会えたんだと、しみじみ思いました。それと、千葉県の審判員は思ったより多いことに少し驚きました。サッカーをしているだけで、審判をしているだけで、何となくサッカーを知っているような気になってしまうように感じますが、選手や審判、監督やコーチだけではなく本当に多くの方がサッカーに関わっていて、サッカーファミリーの輪の広がりを、より身近に感じました。いつもの研修とは違って新鮮で、考え方や見方が少し変わった気がします。本日はありがとうございました。

(高2)林 麗華



(展示ブースの見学)

自分が審判を始めたきっかけは、サッカー部マネージャーとして、部員の役に立ちたいという想いからでした。少しずつですが審判やっていく中で、将来自分は女子1級をとって、大きな試合で審判をやりたい、やるならしっかりとやりたいと思うようになりました。ですからユース審判員の勉強会に参加しているのです。勉強会では、たくさんのことを学べる良い機会だと思っています。そして今月、JFAハウスの見学で、初めて日本のサッカーについてたくさん話を聞きました。審判をやるのにサッカーの歴史を知らなくて、サッカーそのものを理解していないのでは、プレイヤーに失礼です。サッカーを楽しめないと思います。太田さんの講話にもあったのですが、まず審判には女性が少ないこと、そして女子1級が少ないこと。だから私が目指しているところは、少ないところ、難しいところ、その中に私は入りたい…。

今回参加して、私はもっと審判活動を頑張ろうと思いました。女性審判の第1号の方は、高校生でした。私もサッカー部に入っていなかったら、審判だってやっていなかったし、サッカーに関わることもなかったんだと思います。高校生でスタートを切れたので、将来が自分でも楽しみです。日本のサッカーに関わる人間として、先輩審判の方々から受け継がれているものを背負っていける者になりたいです。JFAハウス、楽しかったです。

(高2)宮原 芽久



(JFA職員の方による講義)

今回、初めてユース審判員研修会に参加させていただきました。たくさんの事を学び、もっともっと努力すべきだと思いました。日本サッカーの歴史を学び、世界の広さやサッカー協会のスポーツ社会への貢献度を知ることが出来ました。また、サッカーファミリーという関係者の重要性も知りました。JFA職員の方の講話では、審判人口は世界に比べて多く、もしも100人の村だったらという話が心に響きました。また、千葉県は審判人口が多いという話を聞いて、厳しいとも思いましたが、逆に負けたくないという感情も生まれました。周りのユース審判も努力しているので、僕も努力しなければいけないと思いました。また、SNSを有効に活用する方法なども今までで最も心に響き、しっかりと活用したいと思いました。SNSに投稿することは、安易にすべきではないと思いましたので、しっかりと考えてみようと思いました。

先輩でもある五十嵐さんにお会いできて、すごうれしかったです。五十嵐さんがいなければ審判の道に進むことがなかったのも、良い機会になりました。そして周りの大人がサポートしてくれると聞き、たくさん頼り、いろいろなことを知り、五十嵐さんみたいな素晴らしい人間、素晴らしいレフェリーになりたいと思いました。ユース審判は年齢的にワールドカップでレフェリーをすることが出来る可能性が高いということなので、もっともっと努力をして、上手なレフェリングができるようになりたいと思いました。

(高1)並木佑磨

JFAハウスとはどんな所か、不思議に思っていました。すると、サッカーの歴史などが分かりました。自分が生まれる前のサッカーはどんなものだったのかが分かり、「こんなボールで蹴れるのだろうか?」というものがあつたりして、サッカーへの関心が深まりました。更に太田さんの「サッカーに関わりのある人」という講話では、様々な人が関わっているということを理解し、サッカーの審判をするうえで、中途半端なことをしてはいけないということも、JFAハウス見学ツアーで学びました。そして、SNSに投稿して審判が出来なくなるということは、気を付けなくてはならず、今後の審判活動で注意しなければいけないので、SNSの使い方に気を付けたということも、この見学で深く思いました。

(中1)藤原 陸



(フェアプレー賞!リク!!)

グランドに出て実技を学ぶことはもちろん、座学で競技規則も勉強しています。時にはこんな楽しい時間も良いものです。2016年度からも募集範囲を拡大して、引き続き勉強会を開催していきます。興味・意欲のある方は、是非一緒に勉強していきましょう!

問合せ先:【育成部】 右田 智也(みぎた としや)

Tel : 090-3691-4134

E-mail : [tmigita@ab.auone-net.jp](mailto:tmigita@ab.auone-net.jp)



## 更新講習会のお知らせ（サッカー）

(公益社団法人)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載しております。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もございますので、インターネットをご利用いただける方は、『Kickoff』にてご確認下さい。

4級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
2016年 2月21日 (日)	17:00～ 17:30	17:30～ 20:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モル ール「天台スポ ーツセンター駅」 徒歩10分	160名	有	一般:¥6,000 ユース:¥1,000

3級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
2016年 2月21日 (日)	17:00～ 17:30	17:30～ 20:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (2～4研修室)	千葉都市モル ール「天台スポ ーツセンター駅」 徒歩10分	90名	有	一般:¥6,800 ユース:¥1,500

2級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
2016年 1月24日 (日)	9:30～ 10:00	10:00～ 13:00	講義	千葉県スポーツ 科学センター (2～3研修室)	千葉都市モル ール「天台スポ ーツセンター駅」 徒歩10分	60名	有	一般:¥14,500

## 2016年度審判更新講習会のお知らせ（フットサル）

(公社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もございますので、インターネットをご利用頂ける方は、『Kickoff』でご確認下さい。

《F2、F3、F4審判員対象実技更新講習会》

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
1月31日 (日)	9:00～ 9:30	10:00～ 17:00	実技	天台体育館	スポーツセン ター駅	F3 : 6名 F4 : 20名	有	一般 ユース

・ **カテゴリー審判員研修会**

1月16日(土) 9:00～17:00 会場:東金アリーナ

・ **帯同審判員対象フォローアップ研修会**

2016年1月17日(日)10:00～15:00 スポーツコミュニティー浜野

2016年3月中に予定

・ **フットサル3級インストラクター更新講習会**

日程と会場を調整中です。(1月 or 2月予定。決まり次第、webにアップいたします。)

・ **F4新規取得認定講習会**

2016年3月予定(詳細は決まり次第、webにアップいたします。)

## 3級審判インストラクター更新講習会のお知らせ（サッカー）

2015年度第3回のサッカー3級インストラクター更新講習会(講義)を開催いたします。まだインストラクター資格を更新されていない方で、2016年度も引き続きインストラクターとして活動を希望される方は必ず受講して下さい。

また、当日は前回のレフェリーニュースでお知らせいたしました、3級インストラクター認定講習会(認定試験を含む)も実施します。

尚、受付時間・講習会場等の詳細については、後日、該当者宛に直接メールと郵送でお知らせいたします。

◆ **開催日時** 2016年3月6日(日) 10時00分～16時(予定)

◆ **場 所** 順天堂大学さくらキャンパス

◆ **講習形式** 講義(プラクティカルを実施する場合もあり)

◆ **講習会費** 審判資格有 ¥4,000 審判資格なし ¥6,500

(第1回あるいは第2回更新講習会で既に更新済の方は無料)

注:終日受講による更新となります。途中退席は出来ません。

# 2016年度資格新規取得講習会のお知らせ（サッカー）

インターネットをご利用頂ける方は、『Kickoff』でご確認下さい。

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
1月17日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モル ル「天台スポ ーツセンター 駅」 徒歩10分	160名	有	一般¥7,020 ユース¥1,000
2月14日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モル ル「天台スポ ーツセンター 駅」 徒歩10分	160名	有	一般¥7,020 ユース¥1,000
3月20日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モル ル「天台スポ ーツセンター 駅」 徒歩10分	160名	有	一般¥7,020 ユース¥1,000
3月27日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モル ル「天台スポ ーツセンター 駅」 徒歩10分	160名	有	一般¥7,020 ユース¥1,000

## 休止・降級の申請方法について

審判資格を休止したい方、2級から3級、級から4級など降級を希望する方は、下記の手順で申請をしてください。

### (1) 休止申請

①更新講習会は、受講しないで下さい。

②休止する理由(長期療養・長期海外出張・その他)を(公社)千葉県サッカー協会に申請する。

休止申請書の記載内容(書式はありません)

a.審判番号 b.氏名 c.休止理由 d.休止期間 e.休止期間中の連絡先電話番号(必ず繋がる電話番号)

③休止復活する際は、(公社)千葉県サッカー協会に電話連絡してください。

### (2) 降級申請

①現在の級での更新講習会は、受講しないでください。

※更新講習会を受講してしまった場合は、降級出来ません。

②降級申請書(書式はありません)を(公社)千葉県サッカー協会に申請する。

《降級申請書の記載内容》

a.審判番号 b.氏名 c.降級希望の級(1級→2級、1級→3級、1級→4級、2級→3級、2級→4級、3級→4級)

d.連絡先電話番号(必ず繋がる電話番号)

※降級申請した後で元の級に戻るには、現状の昇級審査が必要となります。

1級の方が4級に降級された場合は、3級の昇級審査に合格し、2級の昇級審査に合格し、1級の昇級審査に合格いたしませんと、元の級(1級)に復活出来ません。

### (3) 申込方法

①申込期間: 2016年2月24日(水)まで

②申請書送付先

〒260-0013 千葉市中央区中央3-9-16三井生命千葉中央ビル4階

公益社団法人 千葉県サッカー協会 審判担当 宛

※ご不明な点がございましたら、直接(公社)千葉県サッカー協会 電話043-310-4888 へ連絡して下さい。



## 差別、暴力のない世界を!

RESPECT PROJECT

JFA J.LEAGUE™



## 派遣審判員の皆様へ ～新シーズン前研修会のお知らせ～

(公社)千葉県サッカー協会審判委員会では、これまでに増して、より確実な割当業務の遂行と、そのための審判員の質を確保するために、新シーズンより派遣審判員の研修制度の見直しを行ってまいります。

それらの詳細説明およびフィットネスチェックを3月上旬～中旬の午後～夜に行う予定です。フィットネスチェックについては、割当派遣を受ける上で必須となります。詳細は、該当者に1月15日頃までに改めてご連絡させていただきます。

【本件に関するお問い合わせ先】 総務部 菅原 TEL :090-2254-2723

E-mail : [kh3h-sgwr@asahi-net.or.jp](mailto:kh3h-sgwr@asahi-net.or.jp)

## 2016年度 永年功労表彰のご案内

(公社)千葉県サッカー協会審判員として登録後、2015年12月31日現在で10年間、20年間並びに30年間、審判活動を続けられた方の表彰を行います。該当する審判員の方は、(自薦又は他薦を問いません)2月19日(金)までに、氏名、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス、登録年月及び活動状況を記載の上、下記までご連絡下さい。

〒260-0007 千葉市中央区祐光1-14-1 大林フローラ407 村上 匡 (宛て)

E-mail : [ta\\_da\\_shi1985@yahoo.co.jp](mailto:ta_da_shi1985@yahoo.co.jp)

### 新KICKOFFシステムでの講習会の申込後のキャンセルに関する注意事項

2015年度より、KICKOFFシステムが更にリニューアルされました。

現在、更新講習会を受講いただくには、全てこのKICKOFFシステムから申し込みいただくこととなります。

講習会の申し込みを完了するためには、翌年度の登録費(日本サッカー協会、千葉県サッカー協会等)及び受講料を納めていただく必要がありますが、翌年度の登録費及び受講料を納めた後に、何らかの理由によって、その講習会を受講出来なくなった場合、申し込んだ講習会をキャンセルしなければ次の講習会へ申し込みいただくことができません。しかしながら、講習会に申し込みを行いその講習会の受講料支払い期限が過ぎた後にキャンセルを希望される場合、その申し込みになった講習会が開催され参加申し込みをされた方々の合否が確定しシステムへの登録作業が終了するまでキャンセルを行うことができず、したがって、次の講習会に申し込みすることが出来ないシステムの仕様となっております。年度末近くにおける講習会に申し込まれ、ご都合により申し込みされた講習会をキャンセルのうえ別の講習会に申し込まれようとしても、キャンセルできず新たな講習会への申し込みが行えないため、最悪、失効となるケースも考えられますのでご注意ください。翌年度の更新を希望される場合には、期間に余裕を持って更新講習会を受講して下さいよう、お願い申し上げます。

### ●JFAラーニングについて●

(公財)日本サッカー協会では、更新講習会などの集合形式での学習時間の都合等で難しい方でも同等の内容が学べるよう、インターネットで動画や文字を用いた教材を配信する更新講習(「JFAラーニング」といふ)が開始されています。審判員の受講機会を増やすとともに利便性を向上することを目的にWeb上で受講することができる更新講習会です。今年度も「サッカー4級審判員」「フットサル4級審判員」に向けて開設されています。

サッカー4級:2016年2月21日までに受講完了する事

フットサル4級:2016年2月21日までに受講完了する事

**申込期日 : 2016年2月13日迄**

**受講期日 : 2016年2月21日迄 (詳細につきましては、Kickoff 講習会情報よりご確認ください)**

問合せ先:(公社)千葉県サッカー協会 TEL:043-310-4888 (審判担当)

営業時間:月曜日～金曜日の(祝・祭日は除く)9:00～17:30まで

※各会場への問い合わせは厳禁とします。講習会の申込後にキャンセルの場合は、(公社)千葉県サッカー協会審判担当までご連絡下さい。



## 【市川市】

## ～ 新体制で2015年を終えて ～

新年あけましておめでとうございます。

「光陰矢のごとし！」の諺のように、昨年の4月に前委員長東哲也より大役を引継いでから、あっという間に9ヶ月が経ちました。昨年は新しい出会いがたくさんあり、審判仲間の素晴らしさを再認識した年でした。昨年は、日々の審判活動以外おいて、下記の2点を行いました。

1.「情報をわかりやすく伝える」「一緒に審判をやりたくなる」をスローガンに、ホームページをリニューアルしました。

<http://referee-ichikawa.sakura.ne.jp/> 一度是非、ご覧ください。

2.指導部を中心に、毎月第二土曜日の夕刻に「審判勉強会」を開催しました。既に10回を終了し、市川市内外を問わず、現役の中学生から4種を中心とした審判員、監督、コーチの皆様が集い・学び合っています。熱心な姿に私たちスタッフも大変刺激を受けています。今年は、会の内容の充実と実践での審判練習の回数を増やしていく予定です。

市川審判委員会では、若手審判員の発掘・養成も行っています。学生や社会人としての制約がある中で若手の審判員は本当によく頑張っています。市川市内や近隣で本格的に審判員を目指す方がいらっしゃいましたら「審判勉強会」にご参加いただき、一緒に審判活動をできれば幸いです。最新情報はホームページをご覧ください。

最後になりますが、千葉県サッカー協会審判委員会の皆様方には、今年もご指導・ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

市川市サッカー協会審判委員会 委員長 武藤 和彦

### 広告主さまを募集しています

- ・千葉県内約1万名の審判員に年4回送られているレフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。
  - ・募集枠は、1枠(1枠タテ55mm×ヨコ85mm)。
  - ・この枠が1枠の大きさの目安です。
- 詳細、お申込みは(公社)千葉県サッカー協会事務局(TEL 043-310-4888)にご連絡をお願いいたします。



### 編集後記

昨年9月17日、日本のサッカーの土台を作り、「日本サッカーの父」として知られる、デッドマール・クラマー氏をご逝去されました(享年90歳)。クラマー氏の数ある名言の中には、こんな言葉があります。「サッカーは思いやりだよ。パスを受ける人の立場になって、受けやすいボールを出すことから始まるんだよ。これから何十年も続く君たちの人生も一緒だよ。人を思いやる気持ちを大事にしろ」。サッカーにおいても、人生においても、「思いやり」を欠かさずに大事にしろ、と、謳われています。クラマー氏の教えである「思いやり」を胸に、世界からも認められた日本が誇る価値である「リスペクト」を腕に纏い、今年1年もしっかりとレフェリングをしまりましょう！！(Some)

### レフェリーニュース編集員

木川 綾	E-mail : girasole@gol.com
長谷川 鉄哉	E-mail : jef_hasechan@tbz.t-com.ne.jp
唐崎 敦好	E-mail : megusta_futbol@kxf.biglobe.ne.jp
染田 洋	E-mail : spzg2dw9@tea.ocn.ne.jp
公益社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会	<a href="http://cfa-referee.lolipop.jp/">http://cfa-referee.lolipop.jp/</a>